

路線名	都道府県	対象区間	1. 整備手法の考え方	2. その他自由意見
東関東道 水戸線	茨城県	銚田 ~ 茨城JCT	<p>「高速道路株式会社による有料道路方式」による早期整備をお願いしたい。</p> <p>《理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東関東自動車道水戸線は、首都圏の交通混雑を緩和するための3環状9放射ネットワークの一翼を担っており、また鹿島港、常陸那珂港や成田空港、百里飛行場などの交流拠点を結び、陸・海・空の広域交通ネットワークを形成し、北関東や首都圏の交流促進を図る上で極めて重要な路線である。 ・本線は、地震などの災害時における常磐道の代替路や緊急輸送路として機能する他、高度医療施設への搬送時間の短縮や拠点都市間の相互連携の強化、更には産業立地や農産物の振興に寄与する物流・流通の利便性向上に伴い地域経済の活性化が図れるなど、地域振興に大きく寄与する路線である。 ・今回の事業評価は整備計画区間9,342kmだけであることから、ネットワークされていないため、交通量は少なく適正な評価がされていない。環境アクセスでの推計交通量によると、全線供用しネットワークが形成されれば2万台を超える交通量が見込まれていることから、十分採算が取れる路線である。 ・対象区間は、成田空港、羽田空港に次ぐ首都圏の第3空港としての役割を担う百里飛行場への重要なアクセス道路である。 <p>よって、百里飛行場の開港（平成21年度予定）に合わせ供用を図るためには、現行どおり地方負担を求めことなく早期整備が可能な有料道路方式が、本県にとって最も適した整備手法である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高速自動車国道は、ネットワークを形成して機能を発揮することから、国土の骨格を形成する11,520kmは、国の責任において、道路特定財源が一般財源化された場合においても、着実に整備を推進されたい。 ・既存の高速道路の有効活用を図るため、スマートICの本格導入を推進されたい。
	埼玉県	三郷南 ~ 高谷JCT	高速道路株式会社による有料道路方式を要望する。	有料道路方式により、地方負担を伴うことなく早期整備をお願いしたい。
	千葉県	三郷南 ~ 高谷JCT	<p>高速道路株式会社による有料道路方式で、早期に整備することを要望します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 環状道路である外かんの早期整備を図ることは、首都圏および本県にとって極めて重要であり、コスト縮減など効率的な事業推進に努め、有料道路方式による早期整備を要望します。 2 外かんの東側区間の整備は、都市再生プロジェクトに位置付けられており、新直轄方式の予算規模では整備の遅れが懸念されます。 3 新直轄方式の無料ケースの場合は、将来交通量が倍増し、設計の見直しや新たな環境対策等が必要となり、整備の大幅な遅れが生じます。 4 新直轄方式による新たな費用負担は困難であり、有料道路方式による早期整備を要望します。 	全国路線網となる外かんや圏央道、東京湾アクアラインなどの環状道路については、広域的な交通分散機能をより適正に発揮させるため、多様で弾力的な金施策が必要と考える。
東京都	三郷南 ~ 高谷JCT	高速道路株式会社による有料道路方式により、早期整備を図られたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・都市高速道路中央環状線、上記区間を含む東京外かく環状道路、首都圏中央連絡自動車道の、いわゆる首都圏3環状道路を早期かつ確実に整備促進すること。 ・首都圏の高速道路が早期に整備でき、利用者により良いサービスが提供できる、（仮称）首都圏高速道路構想について、今後、実現が図られるよう取り組むこと。 ・首都圏の高速道路を一つのネットワークと考え、高速道路の料金体系については、利用者等の視点に立った適切な見直しを行うこと。 	
東関東道 館山線	千葉県	君津 ~ 富津中央	<p>高速道路株式会社による有料道路方式で、早期に整備することを要望します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 東関東自動車道館山線は、収用手続きを経て整備区間のすべての用地を取得し、現在、全線にわたり工事が進められているところであります。 2 このことから、1日も早い完成により、早急に整備効果を発揮させることが有益であることから、高速道路株式会社による有料道路方式での早期整備を要望いたします。 	